

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年2月1日				
コベルプラス浦添教室						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	・粗大運動の際に、人数が増えると危険に感じる場面がある。指導員同士で運動に出る時間の調整を行っている	・限られたスペース内で、楽しく安全に過ごせるように、引き続き環境を整えていく
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	・職員が多い日は、事務所に入りきらない時もあるので、情報共有する際にはブレイルームに集合できるようにしている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	・階段や段差が多く、バリアフリー化や環境上の配慮は、建物上難しい	・建物の作り上、階段や段差は多くあるため、子ども達が転倒しないよう、マット等で段差が目でわかるように工夫する
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	・隣の教室から音が漏れやすい ・ブレイルームがもう少し広いとなお良い	・隣の音が漏れてしまう事は本部へも相談済み
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	・実行が難しいこともあるため、レッスン時に気になった事は日報へ記載し、休みだった指導員も目を通す仕組みを構築	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	・毎年自己評価を行い、保護者の方々が把握できるようにHPへ掲載されていることを周知している	・具体的な改善策の共有を行ったので、すぐに取り組めることに関しては、実施を進めていく
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	・日々のカンファレンスの時間で、情報共有は行えているが、まだまだ改善していきたい案件はあるので、これから進めていく	・具体的な改善策の共有を行ったので、すぐに取り組めることに関しては実施を進めていく
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7		・第三者評価実施なし
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・年間計画に沿って、毎月事業所内研修を実施している	・発達についての知識を深めるための研修をもっと増やしてほしいと職員からの声があがっている
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	・アセスメントシートを用いて、指導員のアセス・保護者へ記載してもらったシートを基に案を作成し、担当者会議実施時に、個別支援計画案についての意見をもらい、作成を行っている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・職員全員で、一人一人の最善の利益を検討することを徹底している	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・個別支援計画を常に確認し、念頭に入れた上で日々のレッスンを行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・レッスン時の様子を共有し、繋がる支援を意識している	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	・もう少し幅広く子どもたちにあったプログラムを提供できるといい（難易度調整を細かく）スモールステップで達成できるように工夫している	・個別レッスンのみの児童もいたので、ソーシャルレッスンを行っていく
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・朝礼で行っている ・共有は、カンファレンス時に行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・指導員が積極的に参加してくれるので、レッスン時の様子や強みや課題においての報告が行えている環境が整っている事もあり、関係機関との連携がスムーズに行えている	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	・関係機関（相談員・園・併用事業所）と密に連絡を取り合える環境が整いつつあり、園の先生方からも情報共有したいと声がかかるようになってきた	・医療（主治医）の先生と連携が取れる仕組みを構築していく
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	・園の先生方にも個別支援計画を共有し、意見をもらえた際には、すぐに反映させ情報共有を行うことで、園での様子や保育計画を共有してもらえる事で、相互理解を図っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	4	・現在は行っていない状況なので、今後取り組んでいきたい ・個別支援ファイル「サポートえいぶる」を活用し、事業所での様子を小学校や放課後等デイサービスへつなげていく	・えいぶるの存在を知らない保護者の方も多い
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	4	3	・研修が開催される際に、メールで案内が届くように依頼している事もあり、地域の児童発達支援センターとは、密に連携が取れている 定期的に、訪問も行い助言も頂いている	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	7		母子通所のため、地域の子ども達と活動する機会を設けていなかったが、年に2回ほど地域の子どもたちを招待するイベントを開催したい
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・レッスンの光景を一緒に見守りながら、子どもたちの小さな変化を共有	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	・月末のコミュトレ時に、ペアトレプチを開催。保護者のみんなが意見交換をすることで、「あーこんな風に考えたいんだ」と子育てが楽しくなったとの声が多くある	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・契約時に説明を行っている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・意思の尊重においては、本人の思いと保護者の思いが違う場合もあるので、ヒアリングを丁寧に行い作成を行っている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	7	・保護者会の開催はなかったが、同じ時間帯にレッスンの保護者様同士をおつなぎしたり、同じ悩みを持っている保護者様同士をおつなぎすることで、保護者様同士が交流	・保護者会の日程を調整中。コベルを卒業した先輩ママの参加が確定している。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7	・事業所の行事を行ったことがなかった	・事業所行事を企画
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	7	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・ヒヤリハット時には、報告書を作成し、本部へ報告	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・定期的実施	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	・契約時に説明を行っている	